

# 新城歌舞伎



**本日の催し物**

- ◆口上  
山・白子歌舞伎
- ◆第一幕  
長篠・設楽原の戦い  
援軍要請の場  
山・白子歌舞伎
- ◆第二幕  
弁天娘女男白浪  
五人男  
稲瀬川勢揃いの場  
鳥原子ども歌舞伎

**第一幕** 長篠・設楽原の戦いは、昨年につき新城歌舞伎用書き下ろした第2弾で地元の無名武士を主人公とした作品です。

**第二幕** 弁天娘女男白浪(五人男)は新城市の子供たちによる感動の熱演です。是非ご覧ください。

令和6年 **11/17** 日



開場12:30 開演13:15 終演15:30(予定)

新城文化会館 大ホール

【全席自由・税込】一般700円

高校生以下無料

8月17日(土)発売開始 \*各出演団体からもお買い求めいただけます。

新城文化会館……………0536-23-2122  
 ピアゴ新城店……………0536-23-3111

お問い合わせ 新城文化会館 ☎ **0536-23-2122** 8:30~17:00

〒441-1381 愛知県新城市下川1-1 <https://www.shinshiro-bunka.jp/>  
 \*休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日以降の最初の平日)

**アクセス**

- ◎公共交通機関でお越しの場合:JR飯田線新城駅から徒歩10分
- ◎車でお越しの場合:新東名高速道路「新城IC」より10分、東名高速道路「豊川IC」より20分、豊橋より50分
- ◎駐車場のご案内:駐車場180台

◆十二時三〇分

開場

◆十三時十五分

口上

山・白子歌舞伎

◆第一幕

長篠・設楽原の戦い

援軍要請の場

山・白子歌舞伎

◆十四時三〇分

休憩

◆十四時五〇分

◆第二幕

弁天娘女男白浪

稲瀬川

勢揃いの場

鳥原子ども

歌舞伎



第一幕

戦国天正合戦絵巻

長篠・設楽原の戦い

援軍要請の場

せんごくてんしょうかつせんえまき  
ながしのしたらがはらのたたかい  
くせんぐんようせいこのぼく

長篠・設楽原の戦いは、天正三年五月二十一日、織田信長・徳川家康連合軍三万八千と武田勝頼軍一万五千との間で行われた戦いで、設楽原において織田軍が新戦法・鉄砲三段撃ちを行った話で有名ですが、戦いは武田勝頼軍が長篠城を取り囲むところから始まります。

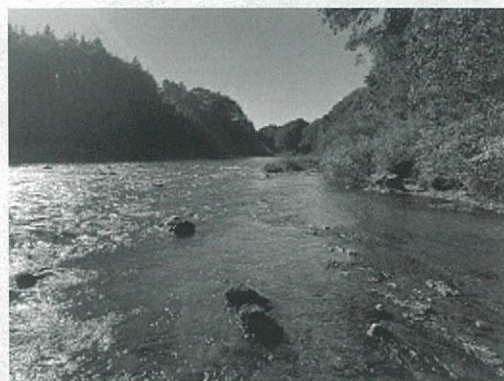
新城市を舞台に繰り広げられたこの戦いは、戦国時代屈指の合戦といわれ、これまで多くの映画やドラマの題材となってきました。

今回ご披露するのは、地元の無名武士「鳥居強右衛門」を主人公とした地元目線の戦いの歌舞伎です。

武田軍に取り囲まれた長篠城を救うため、鳥居強右衛門が岡崎城の家康の元に援軍要請に向きます。

岡崎城には岐阜から到着した織田信長の援軍も来ています。鳥居強右衛門は無事に援軍を頼むことが出来るのか？どのような困難が待っているのか？

織田信長、武田勝頼、徳川家康をわき役にできる唯一の地元発信の歌舞伎です。お楽しみください。



鳥居強右衛門が泳いだ豊川



長篠城址

第二幕

弁天娘女男白浪

稲瀬川勢揃いの場

(通称 女男白浪 五人男)

(べんてんむすめのおのしらなみいなせがわせいぞろいのぼく)

幸兵衛と宗之助が、ゆすりをはたらく二人を仲裁した玉島に礼をしようとする、玉島は実は日本駄右衛門だと正体をあらわし、「店の金を全部だせ」と脅します。そこへ弁天小僧と南郷も押し入ってきますが、偶然にも浜松屋の主人の幸兵衛が弁天小僧の親で、浜松屋の養子の宗之助が日本駄右衛門の実子だということが判明し、一同は何も取ることなく、稲瀬川堤へと落ち延びます。ここで台詞耳に快く響く事を本位に、七五調の美文をつらね銘々の名乗りがあります。「志ら浪」と書かれた傘をさし、浜松屋で登場した日本駄右衛門、弁天小僧菊之助、南郷力丸のほか、忠信利平、赤星十三郎が派手な着物を着て取手に囲まれながら悠々と自己紹介をする名場面があります。こうした臆面のなさが歌舞伎の醍醐味でもありましょう。

あなたも歌舞伎の舞台に立ちませんか

新城歌舞伎は江戸時代以降、幾度か中断すると言う苦難の歴史の中で現在若手中心とした活動をしています。楽しみと交流の場であった村の歌舞伎は長年に渡り先輩たちが築いてくれた「ふるさと新城」の大きな文化遺産となっております。この貴重な伝統文化を保存し、未来へ継承していくことが今を生きる私たちの責任です。少しでも歌舞伎に興味をお持ちの方、私たちと舞台に立ちませんか。子供から大人まで皆様のご参加をお待ちしております。

お問合せ 新城歌舞伎事務局 新城文化会館 ☎053612312122

設楽原歴史資料館  
長篠城址へも  
お立ち寄りください。